



微生物創薬と国際貢献

おおむら さとし
大村 智／北里大学 特別栄誉教授

【プロフィール】

1935年山梨県韮崎(にらさき)市生まれ。

北里大学特別栄誉教授、(学)女子美術大学名誉理事長。

抗生物質など微生物の生産する新規有用天然有機化合物の発見を目的に独創的な研究を推進し、500種余の化合物を発見。26種が医薬、動物薬、生化学研究用試薬、農薬として使われている。特に抗寄生虫薬イベルメクチンは熱帯病のオンコセルカ症およびリンパ系フィラリア症、糞線虫症、疥癬の予防・治療薬として年間約3億人に使われ、その功績により2015年ノーベル生理学・医学賞および文化勲章を受賞。

美術を愛好し、郷里に韮崎大村美術館を建設、2000点余の収集絵画、陶器および彫刻等を市に寄贈した。